

【表紙】

【提出書類】

四半期報告書

【根拠条文】

E00752)

第2 【事業の状況】

1

第3 【提出会社の状況】

1

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、2022年6月30日現在の株主を確認していないため、直前の基準日（2022年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2022年6月30日現在

--	--	--	--

第4 【経理の状況】

1 E00752)

(2) 【要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書】

【要約四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____
	=====	=====
	_____	_____
	_____	_____

(4) E00752)

【要約四半期連結財務諸表注記】

1. 報告企業

セグメント利益から税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

7. その他の営業収益及び営業費用

12. 配当金

配当金の支払額は以下のとおりであります。

14. 金融商品

(1) 金融商品の帳簿価額と公正価値

金融商品の公正価値ヒエラルキーは、公正価値測定に用いたインプットのレベル区分に基づき、以下のいずれかに分類しております。

E00752)

公正価値で測定する金融資産および金融負債は、以下のとおりであります。

金融商品のレベル間の振替は、振替のあった報告期間の期末日に認識することとしております。なお、前連結会計年度において、レベル3からレベル1への振替がありました。当該振替は、以前取引所に上場しておらず、観察可能である活発な市場で取引がなかった企業の株式が取引所に上場したことによるものであります。同社の株式は現在活発な市場において取引されており、活発な市場における取引相場価格を有しているため、公正価値の測定額を公正価値ヒエラルキーのレベル3からレベル1に振替えております。上記以外に、各報告期間において、レベル間の振替が行われた金融商品はありませ

前連結会計年度(2022年3月31日)E0052)

(2) レベル3に区分された金融商品の調整表

レベル3に区分された金融商品の期首残高から四半期末残高までの変動は、以下のとおりであります。

なお、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産を「FVTPLの金融資産」、その他の包括利益を通じて公正価値

15. 偶発債務

連結会社以外の会社等の金融機関等からの借入債務等に対して、次のとおり債務保証を行っております。これらは、金融保証契約に該当し、債務保証先が債務不履行となった場合、当該債務を負担する必要があります。債務保証の残高は、次のとおりであります。

保証債務

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

